

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和5年2月13日

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		机等の位置を考えてできる限りスペースを広く取れるように心がけております。	
	2	職員の配置数は適切である	7		基準値以上基準を満たす人員配置をしており、療育に関わる職員は、全員有資格者を配置しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		入り口にベビーサークルを設置し安全面の強化を図っております。 現時点では車いす利用の方の契約はありませんが、室内、トイレはバリアフリーとなっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		新型コロナウイルス感染症予防のため、施設内・送迎車・玩具・遊具の消毒をこまめに行っております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		毎日のミーティングやリフレクション会議などで課題があれば自由に話し合える場を設け、業務の振り返りから改善へと繋げております。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者様へのアンケートは毎年実施し、ご意向、ご意見を確認し、業務改善に繋げております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		年間予定を立て、事業所内の職員研修は定期的に行っております。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		児童発達支援管理責任者を中心に職員間でしっかりと情報共有を行い、計画書を作成しております。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の状況を把握し、療育に繋げております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		児童発達支援ガイドラインを踏まえた上で保護者様の意向を取り入れ、個々に合った支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		支援計画の内容をもとに、各児童の療育プログラムを設定し、支援計画、支援内容担当職員が確認できるよう個人の療育ファイルに添付して共有しております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		管理者や児童発達支援管理責任者、また支援担当者の全員がチームとなって立案しております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		課題内容は発達や児童の状況に応じて繰り返し行っていることがありますが、楽しみながら続けていけるよう工夫して行っております。 長期休みには、ソーシャルスキルトレーニングを行ったり、理学療法士の指導の下、身体を動かす訓練や指先の訓練も楽しんで行えるよう、イベントとして活動プログラムに取り入れております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		児童一人ひとりに合わせた個別支援を中心に実施していますが、集団への活動参加の組み合わせております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝、その日の利用児童の担当や役割分担を掲示し、全員で共有しております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		支援終了後、全職員への周知が難しい場合は翌日のサービス前に支援内容の振り返りをし、情報共有を行っております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		経過記録は、出来たことだけでなく、苦しいことや課題も記録するようにして次の支援の際に活かせるように努めております。	
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		少なくとも6 か月に1 回はモニタリングを実施し、保護者様からの情報等も加味しながら、個々の成長に合わせた支援計画の見直しを行っております。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		保育園、幼稚園とも連携を図り必要に応じて児童の様子や日々の支援について情報共有し、支援を行っております。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		移行支援に関しては、担当者会議の機会を通して連携に努め、また園や学校からの見学希望についても積極的に受け入れをおこなっております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		就学前に学校や相談員、各関係機関とともに会議をおこなっております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		併用している事業所と担当者会議の際に情報共有を行ったり相談支援員を通して様子を伺っております。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	プライバシーの問題と感染症へのリスクを考慮し、現状では機会を設けておりません。	感染症へのリスクもあり交流は行えていませんが、収束後は保護者様のご意向を踏まえて、交流の機会を検討してまいります。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している		7	コロナ過でもあり、参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が行われる際は積極的に参加してまいります。
保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時のやり取りや連絡帳を利用して保護者様と児童の状況や変化などの情報交換をおこない、共通理解を深めております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	2	保護者様の子育てでのお悩みやご相談に寄り添った支援を心掛け、お悩みの解決手段やご家庭でできる支援や協力に取り組んでいただいています。	現在、ペアレントプログラムとしては行っていないですが、児童の行動に関する保護者様の皆様の不安に対し、行動の理解や対応方法などの助言を今後も行うようにしてまいります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に重要事項説明書、契約書を通し、利用者負担金などについて分かりやすく丁寧な説明を心がけております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。 保護者様のご意向や児童の課題に合わせ作成し、児童発達支援管理責任者が保護者様へ支援計画の内容を説明する際は、専門用語を避け、わかりやすい言葉を使うよう心がけております。	
	34	定期的に、保護者からの子育てでの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		連絡帳や、送迎時でも話しかけていただけるように日頃からコミュニケーションを大切にしております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	コロナ過のため今年度は保護者会を開催できておりません。	コロナ収束後には保護者様のご意見を伺いながら保護者様参加型の行事や保護者様同士や保護者様と職員との交流機会を検討してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		お悩みの相談があった場合は、解決に向けて迅速な対応を心がけています。 その場での回答が難しい内容は一旦持ち帰り、職員と情報共有し、早く回答できるよう努めております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月、「COMPASS だより」を発行し、療育の様子、遊びの様子、行事の様子を掲載しております。 また、LINE公式アカウントやYouTube、Instagram、ホームページのブログなどでも情報を発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報にかかわる書類に関しては鍵付きキャビネットで保管管理し、十分に注意して取り扱っております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		分かりやすく丁寧な情報伝達を心がけております。 児童の日々の様子を連絡帳などでお伝えしていますが、送迎時には保護者様と直接お話をし、より詳しい内容をお伝えしております。	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っている		7	現時点ではコロナ過のため、地域の方をご招待するなどの企画に至っておりません。	今後、コロナ感染症が収束した際には保護者様のご意向を確認したうえで企画を検討してまいります。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		各マニュアルはすぐに確認できるよう入口に掲示しております。 また、避難訓練は定期的実施しております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年間で計画を立て地震・火事・不審者などの避難訓練を実施し職員間の意識づけや連携を図れるよう努めております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		アセスメントの際に詳しくお聞きし、児童情報を全職員へ周知しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	7		アセスメントや、保護者様に確認をおこない、利用児童のアレルギーについては全職員が把握し、対応しております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットが発生した場合、詳細に記録し、共有しております。 事例集は職員間で共有し、定期的に振り返りをおこない、再発防止と、事故の未然防止に努めております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		コロナ過の為外部研修は参加できておりませんが事業所内でも虐待防止研修を開催し、全職員で討議をおこなっています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		利用契約書に身体拘束についての記載があり、やむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文面により保護者様の同意を得る事と定めております。	